

中東情勢に関する国の対応状況等について

令和 8 年 8 月 2 6 日（水）の「中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保のためのタスクフォース（第 4 回）」で示された情報の概要は以下のとおり。

1 経済産業省

- 原油については、タンカーのルート変更に伴う到着遅延が見込まれるものの、9 月については、既備蓄放出分で対応することで前年平月比並の原油供給量が確保され、10 月については、再び前年平月比 10 割超の調達量の実現できる見通し。
- 緊急的な激減緩和措置を 3 月 1 9 日（木）から実施。ガソリンの全国平均小売価格は 1 7 0 円程度、軽油は 1 6 0 円程度、灯油も 1 4 0 円程度の水準に低下。
- ナフサ由来化学製品については、国内におけるナフサ精製、代替調達及び川中在庫の活用により、年度を越えて供給継続が可能な見込み。
- 直販スキームについて、燃料（4/9）、潤滑油（6/10）シンナー・塗料（6/23）でそれぞれ開始。直近（8/18～8/24）の相談件数は落ち着いてきている。
- トルエン等シンナー原料を最大で例年の 1.8 倍供給するスキームについても、6 月 3 日（水）に受付を開始し、これまでに 1 4 件の申請があり、シンナーの供給を順次開始済み。

2 厚生労働省

- 安定供給に課題があると判断された 1 1 5 品目のうち 1 0 2 品目は解決済みであり、残る 1 3 品目についても目詰まり解消の仕組みを構築済み。
- メーカーによる優先供給で、分包紙については、相談があった全て（3 7 3）の薬局等で、薬剤容器については、相談があった 9 割以上（5 2 2）の薬局等の供給不足を解消。
- また、「販売可能な通販サイト」リストの提供で相談があった全て（9 3 2）の医療機関の供給不足を解消。
- 医療用手袋については、国備蓄手袋の放出等により、不足感は緩和傾向。

3 国土交通省

- 建設・住宅資材分野においては、塗料・シンナー、シーリング材、接着剤、断熱材、ユニットバス、塩ビ管、合板に係る直近（8/14～8/20）の供給要請はない。
- 自動車整備、バス、トラック、タクシー分野においては、シンナー・塗料に係る供給要請はなく、エンジンオイルに係る供給要請も少数。

4 農林水産省

- 燃料油やナフサ由来石油製品等に係る相談件数及び供給要請件数は少数で推移。
- これまでに寄せられた供給要請 3 4 5 件のうち 3 4 3 件（9 9 %）が対応完了。
- 食品容器包装等情報交換会の開催や定期的な聞き取りにより、継続的に現場実態の把握に努める。